

単元名

# 第二次世界大戦と日本

## 1. 単元のねらい

昭和初期から、第二次世界大戦終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを基に、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解させる。また、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目し、事象を相互に関連づけるなどして、第二次世界大戦と人類への惨禍について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。さらに、第二次世界大戦と人類への惨禍について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決させる。

## 2. 単元の評価基準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>昭和初期から、第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを基に、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、第二次世界大戦と人類への惨禍について、近代の社会の変化の様子を多面的に・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第二次世界大戦と人類への惨禍について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決している。</li> </ul>

●学習改善につなげる評価    ○評定に用いる評価

	1	2	3	4
知識・技能	●		○	
思考・判断・表現		●		○
主体的に学習に取り組む態度	●			○

3. 単元構造図 (全4時間) ☆獲得する認識

**単元名**  
**第二次世界大戦と日本**

**【単元学習前の生徒の認識】**

第一次世界大戦で、日本は勝利して列強の仲間入りを果たした。しかし、その後中国を巡った利権の争いに入っていく、アメリカなど列強の国々から、日本は危険視されるようになった。その中で、戦争に反対する意見を武力で押し切って、日本は不足する物資を求め、強引に日中戦争を始めた。しかし、アメリカなどが中国を支援したため、戦争が長期化していき、日本軍は苦しめられた。この後、どのようにして第二次世界大戦が始まっていくのだろうか。

第1時 第二次世界大戦の始まり 【●知識・技能、●主体的に学習に取り組む態度】

第二次世界大戦はなぜ起こり、どのように広がっていったのだろうか。

☆独ソ不可侵条約 ☆日独伊三国同盟 ☆枢軸国 ☆連合国

ヨーロッパでは、ナチス・ドイツが東の方に侵略を進めていた。ナチス・ドイツは、ソ連との間に独ソ不可侵条約を結んだ上で、1939年にポーランドに侵攻した。これに対して、ポーランドを助ける形で、イギリスやフランスがドイツに宣戦布告して、第二次世界大戦が始まった。1940年に、ドイツ・イタリア・日本は、日独伊三国同盟を結んだ。これらの枢軸国と連合国との戦いになっていった。その一方でドイツは厳しい占領政策をとったため、それに対抗する運動が起こった。

第二次世界大戦は、世界と日本にどのような影響を与えたのだろうか。

第2時 太平洋戦争の開始 【●思考・判断・表現】

太平洋戦争はどのように起こったのだろうか。

☆日ソ中立条約 ☆大東亜共栄圏 ☆太平洋戦争

イギリスやフランスが、ドイツとの戦争で苦しんでいる間に、日本は資源を求めて、それらの国々の植民地がある東南アジアを攻めた。1941年には、日ソ中立条約を結んで北側の安全を確保し、日本の指導のもとにアジアの民族だけで繁栄しようとする大東亜共栄圏の建設を唱えた。アメリカとの関係は悪化していき、さらにアメリカが日本への石油の輸出禁止にふみきった。そして、戦争に踏み切るしかないという主張の中でできた東条英機内閣と軍部によって、アメリカとの戦争が決定された。1941年12月に、日本軍がアメリカの基地があるハワイの真珠湾を奇襲攻撃したことによって太平洋戦争が始まった。最初は日本軍の優勢だったが、その後は敗戦を重ねて長期化した。

第3時 戦時下の人々 【○知識・技能】

戦争が長引いて、国民の生活はどうなったのだろうか。

☆学徒出陣 ☆勤労動員 ☆疎開

日本は、総力戦として太平洋戦争を戦った。戦争の長期化にともなって、徴兵を免除されていた大学生などが召集され学徒出陣が行われた。また、労働力不足を解消するために、中学生・女学生・未婚の女性も勤労動員として、工場に働かされた。空襲が激しくなると、都市の小学生は、農村に疎開した。食料も十分に配給されず、生活が苦しくなっていく中でも、国民は戦争に協力した。マスメディアなどによって国民の戦意が高められたが、情報統制によって正確な戦況は知らされなかった。日本は、占領地や植民地でも厳しい動員を行った。朝鮮人や中国人が、強制的に日本に連れて来られて働かされた。日本軍は東南アジアでも労働を強制したり、物資を取り上げたりしたため、日本に対抗する動きが起き、それらを弾圧して多くの犠牲者が出た。第二次世界大戦での死者は全世界で5000万人を超え、軍人よりも民間人の方が多かったといわれている。

第4時 戦争の終結 【○思考・判断・表現、○主体的に取り組む態度】

第二次世界大戦はどのように終わったのだろうか。

☆東京大空襲 ☆沖縄戦 ☆ポツダム宣言 ☆原子爆弾 ☆ヤルタ会談

はじめは枢軸国の優勢だったが、1942年後半から連合国の反撃が始まり、アメリカが中心となって枢軸国を追い詰めていった。そして、アメリカ・イギリスがイタリアを降伏させ、東西から攻め込まれたドイツも1945年に降伏した。日本も敗北を重ねていったが、勝利の見通しを失った後も戦争が続けられた。アメリカに大きな損害を与え、有利な条件で講和をしようと考えた指導者によって長引いた戦争により、犠牲者が増えた。サイパン島の陥落をきっかけに日本本土への空襲が激しくなり、軍需工場を標的としたものから、1945年3月の東京大空襲からは、焼夷弾による都市の爆撃が本格的に開始された。また、アメリカ軍が沖縄に上陸し、民間人も巻き込んだ戦闘になり、12万人以上の死者が出た。その中には、日本軍によって集団自決させられた人々もいた。1945年7月に連合国はポツダム宣言をだして、日本に無条件降伏を求めたが、日本はすぐには受け入れなかった。そして、8月6日に広島に、9日に長崎に原子爆弾が投下され、8日はヤルタ会談の秘密協定にもとづいて、ソ連が満州などを攻めたため、8月14日にポツダム宣言の受諾を決め、15日に天皇によるラジオ放送で国民に知らせて、終戦を迎えた。

**【単元学習後の生徒の認識】**

ヨーロッパでは、ナチス・ドイツが東の方に侵略し、1939年にポーランドに侵攻した。ポーランドを助ける形で、イギリスやフランスがドイツに宣戦布告して、第二次世界大戦が始まった。1940年に、ドイツ・イタリア・日本は、日独伊三国同盟を結び、枢軸国として連合国と戦争になった。日本は資源を求めて、列強の植民地がある東南アジアを攻めた。日本が、大東亜共栄圏の建設を唱えたことで、アメリカとの関係は悪化し、アメリカが日本への石油の輸出禁止にふみきった。そして、真珠湾攻撃によって、太平洋戦争が始まった。最初は日本軍の優勢だったが、その後は敗戦を重ねていき、少しでも有利な条件で講和しようとしたことで長期化した。国民には総力戦を求め、戦意を高めるために、正確な戦況も知らせなかった。1945年には空襲も激しさを増し、3月の東京大空襲、沖縄戦を経て、8月の2回の原爆投下を経てようやくポツダム宣言を受諾し、終戦を迎えた。都市が戦場になったことで、多くの民間人が犠牲になり、全世界で5000万人もの戦死者が出た悲惨な戦争だった。

#### 4. 単元指導計画

時	ねらい	学習活動	評価規準	◇資料・指導・援助
1 第二次世界大戦の始まり	第二次世界大戦の広がりについて読み取る活動を通して、ヨーロッパで戦争が起こり拡大していったことに気づき、ドイツやイタリアと同盟を結ぶなど、日本がとった行動について、国際的な視野で理解できる。  ☆独ソ不可侵条約 ☆日独伊三国同盟 ☆枢軸国 ☆連合国	1 防空壕の写真から、課題化する。(単元の課題も) ・穴を掘って隠れている。 ・どんな戦争だったのだろう。  第二次世界大戦はなぜ起こり、どのように広がっていったのだろう。  2 資料をもとに、第二次世界大戦の広がりについて読み取る。 ・ドイツが独ソ不可侵条約を結んで、ポーランドに侵攻した。アメリカなどはポーランドを支援した。 ・日本、ドイツ、イタリアが日独伊三国同盟を結び、枢軸国として連合国に対抗して戦争は広がった。 ・ドイツの厳しい占領政策に抵抗運動が起きた。  3 読み取った内容をまとめる。	ヨーロッパで戦争が起こり、拡大していったこと、ドイツやイタリアと同盟を結ぶなど、日本がとった行動について、国際的な視点で理解している。 <b>【知・技】</b>  探究課題に対する考えをもち、主体的に課題解決を図ろうとしている。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b>	◇防空壕でドイツ軍の空襲をさける子どもたち  ・第二次世界大戦が起こったことをおさえる。 ・出てくる疑問を単元の課題とする。  ◇パリを行進するドイツ軍 ◇第二次世界大戦中のヨーロッパ戦線 ◇アウシュビッツ強制収容所と収容されたユダヤ人
2 太平洋戦争の開始	日本が太平洋戦争に向かった理由を考える活動を通して、国力の差や資源の分布、占領した地域に着目して考察し、表現できる。  ☆日ソ中立条約 ☆大東亜共栄圏 ☆太平洋戦争	1 真珠湾攻撃の写真から課題化する。 ・煙が上がって、燃えている。 ・船がある。  太平洋戦争はどのように起こったのだろう。  2 資料から太平洋戦争の始まりを読み取る。 ・日本は大東亜共栄圏の建設を唱えた。 ・日本に対して石油が輸入されなくなった。 ・日本がハワイの真珠湾を攻撃して開戦した。  3 国力で不利なのに開戦した理由を考える。 ・ABCD包囲網を打ち破るため。 ・石油を入れるようにして、日本を守るため。	日本が太平洋戦争に向かった理由を考える活動を通して、国力の差や資源の分布、占領した地域に着目して考察し、表現している。 <b>【思・判・表】</b>	◇真珠湾攻撃 ・太平洋戦争の開戦であることをおさえる。  ◇「大東亜共栄圏」の資源 ◇太平洋戦争 ◇太平洋戦争をめぐる国際関係  ◇日本とアメリカの国力 ・資源をめぐる争いであることをおさえる。
3 戦時下の人々	戦争が長期化する中での国民の生活を読み取る活動を通して、国民生活が統制されていく様子を理解できる。  ☆学徒出陣 ☆勤労働員 ☆疎開	1 工場で働く中学生の写真を見て課題化する。 ・中学生が工場で働いている。 ・どんな生活だったのだろう。  戦争が長引いて、国民の生活はどうなったのだろう。  2 資料から、戦時下の生活を読み取る。 ・学徒出陣、勤労働員など、戦争のための生活。 ・都市の小学生は、農村に疎開した。 ・日本全土で、多くの市民が巻き込まれた。  3 読み取った内容をまとめる。	戦争が長期化する中で、国民生活が統制され、総力戦を強いられていた様子を理解している。 <b>【知・技】</b>	◇工場で働く中学生 ・生活に着目させる。  ◇学徒出陣壮行会 ◇集団疎開 ◇供出された寺の鐘 ◇子ども向けの雑誌の表紙 ◇空襲などによる死傷者数 ◇徴発されて鉄道工事に従事する住民
		労働力不足解消のために、中学生や女性も工場で働かされた。また、都市の小学生は、農村に疎開した。食料も十分に配給されず、生活が苦しくなっていく中、国民は戦争に協力した。マスメディアなどによって国民の戦意は高められたが、情報統制によって正確な戦況は知らされなかった。中国などの占領地から強制的に連れて来られて、労働させられる人々もいた。そして、多くの市民が巻き込まれていった。		

<p>4 戦争の終結</p>	<p>第二次世界大戦がどのように終わったのか読み取る活動を通して、イタリア・ドイツの降伏、沖縄戦から原爆投下などから、戦争終結までの経緯を理解できる。</p> <p>☆東京大空襲 ☆沖縄戦 ☆ポツダム宣言 ☆原子爆弾 ☆ヤルタ会談</p>	<p>1 原爆投下後の写真から課題化する。 ・原爆の投下によって終戦に向かった。 ・どのように終わったのだろう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">第二次世界大戦はどのように終わったのだろう。</div> <p>2 資料から終戦までの経緯について読み取る。 ・ドイツとイタリアが降伏した。 ・東京大空襲や沖縄戦で多くの市民が犠牲になった。 ・原爆投下とソ連の侵攻でポツダム宣言を受諾した。</p> <p>3 ポツダム宣言の受諾が遅くなった理由を考える。 ・占領されて領土も限定されてしまうから。 ・受諾すれば、指導者たち自身が処罰されるから。 →戦後は平和で、国民が意見をもっと主張できるような時代が来るのだろうか</p>	<p>イタリア・ドイツの降伏、沖縄戦から原爆投下などを通して、戦争終結までの経緯を理解するとともに、戦後の時代について考察することができる。</p> <p>【思・判・表】</p> <p>これまでの学びとつなげ、探究課題に対する自分の考えを主体的にまとめている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>	<p>◇廃きよになった広島 ・終戦へと向かう流れを意識させる。</p> <p>◇イタリアとドイツの降伏 ◇ベルリンの陥落 ◇東京大空襲 ◇日本の降伏</p> <p>◇ポツダム宣言 ・受諾を見送った当時の事情に着目させる。</p>
<p>日本は敗戦を重ねていき、少しでも有利な条件で講和しようとして長期化した。1945年には空襲も激しさを増し、3月の東京大空襲、沖縄戦を経て、8月の2回の原爆投下を経てようやくポツダム宣言を受諾し、終戦を迎えた。都市が戦場になったことで、多くの民間人が犠牲になり、全世界で5000万人もの戦死者が出た悲惨な戦争になった。</p>		<p>ヨーロッパでは、ナチス・ドイツが東の方に侵略し、1939年にポーランドに侵攻した。ポーランドを助ける形で、イギリスやフランスがドイツに宣戦布告して、第二次世界大戦が始まった。1940年に、ドイツ・イタリア・日本は、日独伊三国同盟を結び、枢軸国として連合国と戦争になった。日本は資源を求めて、列強の植民地がある東南アジアを攻めた。日本が、大東亜共栄圏の建設を唱えたことで、アメリカとの関係は悪化し、アメリカが日本への石油の輸出禁止にふみきった。そして、真珠湾攻撃によって、太平洋戦争が始まった。最初は日本軍の優勢だったが、その後は敗戦を重ねていき、少しでも有利な条件で講和しようとしたことで長期化した。国民には総力戦を求め、戦意を高めるために、正確な戦況も知らせなかった。1945年には空襲も激しさを増し、3月の東京大空襲、沖縄戦を経て、8月の2回の原爆投下を経てようやくポツダム宣言を受諾し、終戦を迎えた。都市が戦場になったことで、多くの民間人が犠牲になり、全世界で5000万人もの戦死者が出た悲惨な戦争だった。次の時代は、戦争の惨禍の経験を基に、経済を復興させ、平和や民主主義を土台にした時代が来るのかな。</p>		